

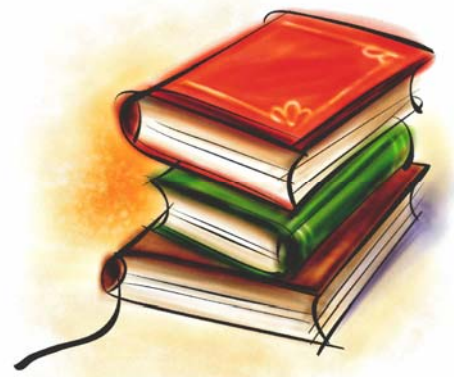
第1章 はじめに

子どもの読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めていくうえで大切なものです。しかし、近年のテレビ、ビデオ及びインターネット等のさまざまな情報メディアの普及は子どもたちの生活環境を変化させ、興味や関心を多様化させました。また、幼児期からの読書習慣の未形成などにより子どもの「読書離れ」が指摘されています。

そこで国は子どもの読書活動を国を挙げて支援するため、平成12年を「子ども読書年」と決めました。平成13年12月には子どもの読書活動に関する施策の推進を図るため「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行し、この法律に基づき平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定しました。

県では、国の動向を受け、平成15年4月「福井県子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動に関する施策の方向と具体的な取組みを示しています。

おおい町においても更なる読書活動の推進のため、福井県が策定した『子どもの読書活動推進計画』において掲げる基本目標である「子どもが自主的に楽しく読書に親しむ環境づくり」の達成を目指し、おおい町の教育方針に基づいて本計画を策定します。



第2章 基本的方針

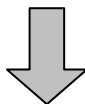
1 読書の意義

読書は子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするために不可欠なものであるといえます。また、読書活動を経て得た知識・体験・思想は子どもたちの人生をより深いものにし、そして子どもたちが将来壁にぶつかった時にそれを乗り越える力(生きて働く力)となってくれます。

2 計画の基本目標

子どもが、それぞれの発達段階・個性に応じ、自主的な読書活動が推進できるような環境の整備を推進します。

「子どもが自主的に楽しく読書に親しむ環境づくり」



- 家庭・地域・学校での子どもの読書活動を推進する。
 - ・ 家庭での読書活動の啓発・支援を行う。
 - ・ 地域の図書館を中心とした読書活動の啓発のための取組みを実施する。
 - ・ 学校での多様な読書活動の展開を図る。

- 子どもの読書活動推進のための読書環境の整備・充実を図る。
 - ・ 地域の実状に応じた図書館や各種施設を活用した図書コーナー・図書室の整備の促進及び資料の充実を図る。

- 地域や学校との連携・協力・ネットワーク化を図る。
 - ・ 町立図書館・学校図書館・公民館等の情報化を推進する。
 - ・ 町立図書館・公民館・ボランティア等団体間の連携を促進する。

- 子どもの読書活動に関する理解と普及に努める。
 - ・ 「子どもの読書の日」を中心とした普及、啓発事業を推進する。
 - ・ 広報活動の促進、情報の発信を図る。
 - ・ 読書活動推進のための人材育成を図る。

3 計画実施期間

平成20年度から平成25年度までの5年間とし状況に応じて計画の見直しを行います。

第3章 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

1 家庭における読書活動の推進

(1) 現状と課題

家庭は子どもが読書に親しむ習慣を身につける最初の間であるといえます。しかし、近年のテレビ・テレビゲーム・インターネット等の普及や生活環境の変化、更には幼児期からの読書習慣の未形成などにより子どもの「読書離れ」が進んでいます。

子どもが日常生活の中で読書活動を習慣化するためには、まず大人が子どもの読書活動の必要性を十分理解し、家族ぐるみで読書をする環境を作ることが必要です。

(2) 取り組み

家庭での読書や読み聞かせの時間を親子の心のふれあいの手段としていきます。

● 家庭への読書活動の啓発・支援を行います。

- ・ 親子・家族と一緒に本を楽しむ時間や、乳幼児のころから読み聞かせの時間を設けるなどして家庭で本に親しむよう働きかけていきます。
- ・ 図書館などで開催する子どもの読書活動推進のための事業へ積極的な参加を呼びかけます。
- ・ ブックスタート事業を通して乳児期から本との出会いの機会を提供します。

2 図書館における読書活動の推進

図書館は様々な年代の子どもたちに本との出会いを提供する場です。当町には二つの町立図書館があり、それぞれ特色ある取り組みを進めていますが、今後更に連携を密にし、補い合い、子どもの読書活動の推進に努めます。

(1) 現状と課題

● 大飯図書館

子どもたちに読みたい本が手元に届く環境を提供するため、児童書コーナーをはじめとした蔵書の充実化を図っています。そして子どもから大人まで、すべての人に読書の楽しさを知ってもらう場を目指しています。

今後の課題として、おはなし会など子ども向けの行事の実施についてはまだまだ十分であるといえず、現在行っている行事を今後も継続、充実させていきます。

また、図書館から情報を発信していくためのツールとして図書館独自のホームページを作成し、Web上での蔵書検索を可能にすることを目指します。

さらに、郷土史料館との複合施設であることを活かし、子どもたちに町の歴史を知ってもらうための場として活用していきます。

● 名田庄図書館

名田庄図書館では、子どもたちが本を自由に手にとって見られるよう全て開架図書とし、児童書コーナーの充実を図っています。

しかし、児童関係資料がまだまだ不十分なので今後、児童書・紙芝居・参考図書なども補っていく必要があります。

図書館ボランティアが広範囲に活動していけるよう今まで以上に子ども向け行事などが継続できるよう支援していく体制が必要です。

また、子ども向け行事がいつまでも魅力あるものとなるために常に内容を吟味し、マンネリ化しないよう考えていくことが必要となります。

(2) 取り組み

● 図書館資料の充実

子どもたちの求める図書の収集・提供を行い、乳幼児・児童・青少年とそれぞれの発育段階に応じた図書館資料の充実を図ります。

● 子供が読書に親しむための環境づくり

子どもたちが本に興味・関心を持つきっかけとなるよう季節やテーマに応じて児童書の特集・展示等を行い、読書環境のさらなる充実を図っていきます。

● 子ども向け図書館行事の実施

子どもたちに本のおもしろさや魅力、ことばの美しさなどを知ってもらうため、おはなし会や子ども映画会など様々な催しを行い、行事内容の充実を図っていきます。

● 児童サービスのための講習会の開催

保護者・ボランティア・教師・保育士等を対象に読み聞かせや布絵本、紙芝居等の講習会を行うことで、子どもの読書活動の担い手の育成または技術・知識の向上を目指します。

● 小・中学校との連携・支援サービスの充実

団体貸出などを通して、子どもが本と出会う機会を作ります。検索システム等情報面での連携の促進を目指します。定期的に連絡会を開き学校との連携体制も整えていきます。

● ブックスタート事業の実施

おおい町では毎月、乳幼児の読書活動の支援としてブックスタートを行っています。大飯図書館では保健センターで6ヵ月健診時に、名田庄図書館では館内でそれぞれ実施しています。

● ボランティアとの連携

地域のボランティアと連携し、子ども向け行事のサポート等子どもが読書に親しむ様々な機会を提供します。

- **図書館間の連携の促進**

大飯・名田庄図書館間での相互貸借等の連携を促進し、利用者の利便性の向上を目指します。

3 小・中学校における読書活動の推進

(1) 現状と課題

当町には4つの小学校と2つの中学校があります。すべての学校に学校図書館があり、生徒の読書への興味、関心を引き出せるような環境づくりを行っています。

各学校によって時間など若干異なりますが、すべての学校で「朝読書」の時間を設けています。また、学校図書館では図書ボランティアによる読み聞かせも一部実施されています。今後は「朝読書」の内容のさらなる充実、読み聞かせの機会の増加など子どもの読書活動への支援の充実を図る必要があります。

(2) 取り組み

- **学校図書館の環境整備**

本の紹介や展示などを行い、児童・生徒が利用しやすく、親しみやすい環境作りを行っています。

また、児童・生徒にとって居心地のよい場となるよう施設・設備の改善を図ります。

さらに、町内の全ての学校図書館の蔵書をデータ化し、パソコンを使って検索・貸出作業をできるようにし、学校図書館の利便性の向上を図ります。

- **学校図書館の蔵書の充実**

児童・生徒の多様な興味・関心に応えられるように図書資料の充実を図り、子どもたちがより多くの本に触れられるよう、必要な図書を必要な数だけ準備するよう心がけていきます。

● 読書活動の充実

「朝読書」の実施や、国語科や学級活動などの時間を利用し、正しい図書館の利用の仕方や積極的な読書活動について指導し、子どもたちの読書の幅を広げます。

授業でも積極的に学校図書館を利用していきます。

● 読書活動推進のための指導者の育成

図書館で行う読み聞かせの講習会などに積極的に参加し、指導力の向上を図ります。

● 地域との連携

地域の図書館やボランティアと連携し、読み聞かせなどを通じて子どもの読書活動を啓発します。

図書館と連携し、団体貸出を行うことで図書館の本も読める機会を作り、より一層の図書の実質を図ります。

4 幼稚園・保育園における読書活動の推進

(1) 現状と課題

乳幼児期から様々な本との出会いを通して読書の楽しさを知ることができるよう、毎日の保育の中で年齢に応じた読み聞かせの時間を持つとともに、園児たちが自分で本を選び読む機会も設けています。

絵本コーナーは季節ごとに内容を入れ替えるなどの環境づくりも行っています。

今後の課題としては保護者に良質の絵本を紹介するなど、読書の大切さを知ってもらうための家庭への啓発が必要です。

また、園児たちがよりたくさんの絵本に出会うことができるよう地域の図書館との連携も深めていきます。

(2) 取り組み

● 絵本コーナーの充実

季節に応じて内容を入れ替えるなど園児たちが読書の楽しさを体験できるよう、絵本コーナーの充実を図ります。



- **家庭への親子読書の推進**

乳幼児期における絵本の読み聞かせの大切さを保護者（家庭）に知ってもらうよう啓発します。

- **読書の楽しさを体験する機会の充実**

読み聞かせなど絵本に親しむ機会を設けます。

- **読み聞かせ等に関する研修の充実**

幼稚園教諭・保育士を対象にした読み聞かせ等の研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めていきます。

5 公民館における読書活動の推進

(1) 現状と課題

公民館は放課後や休日に地域の子どもたちが気軽に本に触れることができる場です。当町の公民館には図書室があり、図書の貸出も行っています。また、公民館で行われている学童保育での学習に図書を活用しています。しかし、図書室の利用者は少なく、子どもたちの読書活動の場として十分な環境でないのが現状です。

(2) 取り組み

- **図書室の蔵書環境の充実**

図書館と連携し、団体貸出を行い、子どもたちが様々な本を読めるよう図書室の蔵書の充実を図ります。

子どもたちの読書意欲を高めるため、図書室の環境をよりよいものにするため工夫していきます。

- **子どもの読書活動を啓発する事業の開催**

子どもが本に接する機会を増やすために、子どもの読書活動につながる事業を開催していきます。

第4章 読書活動推進のための連携・協力体制の整備

子どもの読書を身近にするためには、家庭・地域・学校を通じた社会全体での取り組みが必要です。

子どもの読書活動を推進する上でそれぞれが、その担うべき役割を果たした上で、相互に連携・協力を図り、子どもたちの読書活動の習慣化を目指していきます。

- 家庭・地域・学校・ボランティア等の情報交換の促進と人材育成のための研修の機会を設ける。
- 小・中学校と図書館の関係を密にし、調べ学習や朝読書に必要な図書資料を円滑に提供できるようにしていく。
- 幼稚園・保育園や公民館と図書館の連携・協力を図る。
- 啓発・広報活動の促進
子どもの読書活動推進のための事業を積極的に開催し、読書の重要性を周知する。

